

年末繁忙期の対応状況

1 経過

- (1) 今年末年始繁忙は、ゆうパック取り扱い増への対応が大きなポイントとなっており、2017年度末年始業務推進に対する要求交渉においても、既存施設狭隘に伴う部外施設借り入れや郵便・物流NW再編を踏まえたオペレーションの確立、集配部門を中心に厳しい現状が続いている職場への必要労働力確保策の強化に関して、交渉整理をはかったところです。
- (2) その後、ゆうパックの引き受け物数見込み数が、108.1%から114.3%に上方修正されたことを受け、各地方においても地域区分局を中心としたゆうパックオペレーション確保や、集配労働力確保等、年末年始繁忙期の準備状況を十分注視するよう改めて要請したところです。
- (3) そうした中、同業他社の雇用単価引き上げなどを受け、業務運行確保の困難性が一層高まったとの強い問題意識を持ち、年末繁忙期の対応について混乱が生じないように会社側に強く求め、その対応策について示されたものです。

2 概要

競合他社の動向により、取扱個数は上昇傾向継続。年末繁忙期前の段階で、一部の地域区分局で業務遅延が発生。このような事態を受け、本年末繁忙期は、「入口段階での荷物の抑制等」、「業務運行の確保のための準備」の両輪で対応。

3 本部判断と今後の対応

- (1) 本部は、現時点での会社対応策として受け止めつつ、各職場においてその通りの対応となっているか検証が必要と判断します。特に受託者確保策に関して、繁忙加算額の活用(加算含む)や単価決定に関する支社裁量の見直しは、これまで本部として求めてきたものであり、個局の実情を踏まえた具体的措置をはかっていく必要があるものです。
- (2) また、このままの引き受け物数で推移し、ゆうパック区分業務の必要労働力(短期アルバイト、派遣)が充足されていない状況下では、地域区分局での業務運行の懸念が払拭できないことから、情報連携とコンチプランに基づく対応の徹底を強く求めたところです。
- (3) さらには、配達遅延等に関するお客さま周知に関しても、そのタイミングおよび判断を適切に行うことを強く要請したところです。
- (4) いずれにしても、遅延や遅配が生じてからのリスク管理ではなく、生じないための手立てを打つリスク回避の必要性について会社と共通認識をはかったところであり、今後は各地方との連携・検証のもと、課題を生じさせないための事前対応に注力するとともに、課題が生じた場合についても速やかな解決を目指すこととします。

総務分会 忘年会のお知らせ**日時：12月8日(金) 18:00～****場所：温野菜(東陽町店)**

今年も残すところあと1カ月となりました。今年一年の締めくくりとして飲んで、食べて、語らって、大いに盛り上がりましょう。そして、年末繁忙を無理なく、ケガなく、健康第一に乗り切っていきましょう！

会場は江東区役所近くです。乾杯は18:30～(^^) 詳細は宴会部長まで

日 刊
新東京

No.2209

2017年
12月4日(月)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

どこの部署も 大変だと思えます

今年も残り4週間を切りました。つい最近新年のあいさつをしたと思ったらもう年末です。最近一年の経過がとて早く感じる今日この頃です。

今年最後の日刊を何を書こうか考えていましたが、やっぱり職場の現状を皆さんにお伝えし

て「どこの職場も大変なんだなあ」との思いを少しでも共感してもらおうと日刊を書きたいと思えます。先日の日刊紙でゆうパック部の現状について投稿がありました。※11月27日付日刊紙タイトル「今、ゆうパックは凄いことになっている」読

んでいない方は支部のホームページにアクセスするか組合室にバックナンバーが綴っているので立ち寄ってください。その投稿を読むと確かにゆうパック部において日々の結束はとも大変だと思えますが一階の輸送関連でもなかなか大変な日々が続いています。

まずは全国的に輸送容器が不足しているためオペレーションが変わってきていることです。特にケース不足は深刻で通年到着している東京発送からの郵便がケース不足のため並甲郵袋にて到着します。当然機械処理が出来ないため計理・計画にて手作業で宛先別に区分けを行います。この作業を見ていると半月後に迫った年賀の処理が心配で

なりません。その他にも機械処理にて結束を守っている新東京に対して鉄パレットやCRBに区分けするケースを搭載してきたり、有人車で搬送出来ないLRBなど受け取り側の局の事は一切おかまいなし。極めつけは夜中の結束便にトラックの荷台に一〇〇ケース以上のケースが直積されて到着します。もうここまでくると少し諦め気味になります。

さらに本年度は一階のゆうメールもゆうパックと同じように増加しています。一階では特割のゆうメールの持ち込み方法として郵便局で依頼した区分け(指定継送)とその他によって分けられます。その他は第二普通郵便部によって区分けを行います

すが指定継送は概ね板パレットに搭載して持ち込まれるため先ずはフォークリフトにより方面別に並べ替えその後郵便企画部に臨時便の配車の依頼を行います。最近大口窓口で受ける板パレットの数が毎日のように300や400、月末には500以上と配置されている労働力に対して全く追いつかないのが現状です。しかも、オーダーした板パレットが日々全て出て行く訳ではありません。特にゆうパック部で年末繁忙に突入してからは尚更です。そのため決まった時間に板パレットをパレットに積みかえる作業を行うのです。当然パレット不足のため積み替え作業が出来ない時間帯も出てきてしまいます。そうなる

と前日のキャンセルされた宛先にさらに当日追加したオーダー分が追加されるなどの負の連鎖がずっと続いていきます。その他にも他局(主に関東近県)から来る継越パレットは九州、北海道を中心に増加するばかり、さらに航空差立ではX線検査も含め細かい作業が多くなり多くの人手が必要とされています。

このように局内では多くの部署が年末繁忙以前からたくさんのおこなっていると思います。そこで皆さんの職場の問題点も日刊紙に投稿し共有してみませんか?分会役員にメモ等で渡しても構いません。少しでも職場の現状を他の部署の方に伝えてみませんか?

第1回 2特特分会会議 分会機能発揮で組合員の真の幸せ実現 情報の共有化に白熱する論議

11月29日、都内某所において2特特分会会議を開催しました。

高木分会長から「少し時間が経ってしまいましたが第1回の分会会議を開催します。課題はたくさんありますが、みんなで意見を出し合いながら進めていきましょう。よろしくお願います」とあいさつがありました。岩崎副分会長の進行で会議は

始まりました。

先日開催された拡大執行委員会の報告を木村執行委員からしてもらいました。とりわけ支部年間執行方針で提起されている分会機能の発揮と役割を中心論議しました。

分会会議の議題は、分会体制の強化、職場グループピング、組織拡大の対象設定、職場課題や年末繁忙要求、

職場の安全問題、みらい研、共済(きき)ずな・医療共済・交通災害)、分会忘年会、ボウリング大会、分会内の連絡体制の確認などなど課題はたくさんありました。支部執行部から要請のあった職場グループピングでは、何でもいいからとりあえずやる...というのではなく、これまでの2特分会の活動にリンクしたグループピングにしようと決め、とりあえず1グループとしました。

組織課題の組織拡大では、非正規雇用社員の雇用と労働条件を守る立場でJP労組への加入勸奨を働きかけよう、と論議なりアプローチリストを再度検討しました。

職場課題では近年の円安の影響と思われる海外通販の影響で、国際あて有証継越郵袋がどんどん増えているため、一晩で480袋もの国際あてがあった。国際あて郵袋はパンパ

ンのドデカイもので、何度も数えたり載せ替えたりで大変手間がかかっている。

2特でやっているアマゾン当日配達処理は誰がどうみても要員足りな
い。業務が大変な1普や2普からわざわざ応援もらってやっているけれど、自分たちの2特の職場で
きるように人を増やすか5時間勤務を6時間勤務にするなど対策が必要
ではないか。

また、初めて税金関係郵便物を記録系郵便で取り扱ったが、いきあたりばつたりの作業では大変なムダと
限界が多かった。区分函も中途半端だったため誤区分も多くあり、普段
やっているパレット締め切りもだめ
だと言われ、補助下3で輸送差立て
ればいいものを補助下2で下すこと
よってわざわざ混乱させたりしてい
た。

夏前に故障した空調機はそこに大
きな穴が開きっぱなしだし、職場は
乾燥してきて埃がすごい。空気が汚
く故障した除塵機の修理を出しても
全然帰ってこないの修理するより
新しいものを買ったほうがいいんじ
やないか、40年も洗濯していない
郵袋なんて信じられない、人事評価
結果の公平性・納得性に疑問ある、
指定表の深夜勤は導入当時のルール
が守られていない現状
があるので組合員の健
康第一で考えてほしい、
などなど意見はたくさん
出しました。

2特分会忘年会は1
2月10日日曜日に東
陽町「いっき」で18
時より開催するために
進行係などの役割分担
をしていきました。

新東京では繁忙期に入る以前から
繁忙並みに忙しくて、すでに輸送容
器であるケースやパレットが不足し
無くなつてきています。パレットの
争奪戦など無用な消耗戦となってい
ます。新東京が全般的に影響をおよ
ぼすことをどれだけ真剣考えている
のか、新東京が安定して業務遂行で
きるよう願うばかりです。

2特分会 新分会体制

分会長	茂之	之之
副分会長	直和	幸一
副分会長	健恒	芳樹
書記長	田里	直亮
分会幹事	白入	希恭
	芦羽	剛一
	今小	浩
	荒牧	司
	村	陽
支部長		
執行委員		

日 刊 新東京	No.2212	2017年12月7日(木)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

ゆうパック増加に伴う 業務運行確保に関する対応

東京地本は、ゆうパック等における正常な業務運行確保対策については、中央本部への要請支社対応を継続してきており、まずは地域区分局の業務救済策等について改善策を講じさせてきています。

11月30日の日刊紙「年末繁忙期の対応状況」の情報周知のとおり、まずは、地域区分局（特に新東京）への運送便の到着が定刻に入るよう、全国での地域区分局において部外借り入れを中心に処理能力の拡大等を実施させてきております。さらに、東京段階においても運送便到着後の作業について、先般周知したとおり、年末短期アルバイトの前倒し採用、行内渋滞の早期解消のため、管理者等によるパレット取卸し作業補助の実施含め、安定した業務運行確保等を実施させてきていますが、引き続き、全国台の運送便関連は中央本部と連携しつつ、必要な対応を図ることとします。

支社対応においても、大口企業様に12月の差し出し計画個数についての再調整や配達日数の余裕承諾をいただく対応、パレットケースについても12月15日までに3万ケースを配備、また受託者確保や必要な単価の見直し、車両確保のため四輪車は社用車を事業用車両（配達可能）とする届け出、二輪車は特別更改予備車両役40台を活用、朝のゆうパック区分対策（荷物等集配委託業者によるゆうパック到着区分作業応援を行う場合は契約変更して対応可）、年末繁忙期に限りゆうパックの2日間連続配達の休止（局長判断）など、各郵便局の実情を踏まえた対応策を実施させてきています。

支社も、各郵便局の実情に合わせた対応を図るために、注視局については専門役を現地に臨局させるとしています。

東京地本としては、引き続き、個局ごとの状況等を注視し、必要な対策を講じさせていくこととしています。

各支部・分会においても、社員の健康管理（休憩・休息の取得）を第一とした業務運行状況を注視し、もし何かあれば分会役員・執行委員へ報告をお願いします。

12月に入り続々と各分会 が忘年会を開催中！！

総務分会 忘年会のお知らせ

12月8日（金） 18：00～（乾杯は18：30～）

場所：温野菜（東陽町店）

総務分会恒例になってきた忘年会！

2特分会 忘年会のお知らせ

12月10日（日） 17：50～（乾杯は18：00～）

場所：いっき（東陽町店）

分会新体制での忘年会！

1特分会 忘年会のお知らせ

12月17日（日） 18：00～（乾杯）

場所：牛タン木村（東陽町駅前店）

今年のメインは牛タン！

1パック分会 忘年会のお知らせ

12月17日（日） 18：20～（乾杯は18：30～）

場所：はなの舞（東陽町4丁目店）

1パック分会初の忘年会！

※1普分会は、年賀繁忙があるため毎年11月に開催。

※他分会は、業務繁忙のため新年会に振替予定。

どこの部所も

大変だと思えます

Vol3

12月4日の日刊では輸送部を取り巻く課題についての投稿があり、その前週では、ゆうパック部に関連した課題の投稿がありました。「どこの部所でも様々な問題を抱えているんだ」シリーズ第3弾。

ここ最近の新東京に面した公道、明治通りに並ぶ多くの車両について、「あれっ、

おかしいのではない？」と感じる方もたくさんいるのではないかと思います。もちろん私もその一人ですが、物流業界の深刻な課題であるドライバー不足は様々な報道等で知っている方もいるかと思いますが、明治通りには新東京構内へ入ろうとする車両が、ここ最近異常なほど長蛇の列で並んでいます。それも20

時くらいから朝方までその列は続いています。

輸送情報システムを見てみると軒並み緑色に着色されています。お客様からお預かりした大切な荷物や郵便物を時間通りに運ぼうと考えて懸命に走ってきた運転手さんからすれば、ゴール直前で、長時間、それも公道で待機させられることで疲労感も倍増するのではないのでしょうか。

その原因は一言では言い表すことはできませんが、簡単に言えばそれだけたくさんさんの車両が入りしているからなのでしょう。考えてみれば、減少傾向である郵便の不足を補うように増

加しているのはゆうパックやゆうパケット、又はゆうメールという大型の商品です。ご利用いただけますが、定型郵便物やはがきに比較して輸送力やスペース、更には労働力と段違いに必要となります。更には、それを受け入れる環境整備がきちんとなされていなければ相応の負荷が生じることは間違いないでしょう。職場では、「今年はこれまでになく異常だよ」と不満と不安の声をよく耳にします。懸命に働く社員の士気にも悪影響を与えているのではないのでしょうか？東京北部が開局したのは2015年8月。その前年度の2014年8月には2200人ほどいた

社員が、現在は2000人程度。その間、カラー管理郵便物の移管もあり、更には物流他社の値上げ等もあつてか順調に荷物の取扱数は増え、数字上では喜ばしい状況なのかもしれません。が、現場では、ちよつとした知恵や工夫、誰か一人が頑張つたくらいでは対処できない状況となつてしまいました。

連日、総務部や企画、計理計画が当たり前のように応援を行い、支社からも応援が来ています。本来あるべき仕事があるでしようから大きな負担となつていないでしよう。

私たちは100年以上続く老舗のブランドを先輩方から引き継ぎ、未来永劫そ

～18春闘～

現在、職場討議資料(チラシ)の配布を支部又は分会役員が行うこととしています。

今春闘では、さまざまな状況を分析しつつも組合員の生活実態や未来への投資(人への投資)を基本に要求建てしていくとしています。また、チラシ配布時には様々な意見をお聞きする場とも考えています。ご協力ください。

の価値を失うことが無いよう日々懸命に職務にあたつていきます。しかしながら、このままではその社会的信頼も失つてしまうのではないかと不安になります。現場で働く社員が充実感、達成感を感じつつ退社できる、そういつた職場環境が最も大切ではないでしようか。

日
刊

江戸新東京

No.2214

2017年12月11日(月)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部

03-5606-6784

内線 4353

新東京支部主催

新春 ボウリング大会

毎年恒例の新春ボウリング大会ですが、今回は江戸川ヤングボウルで行います。

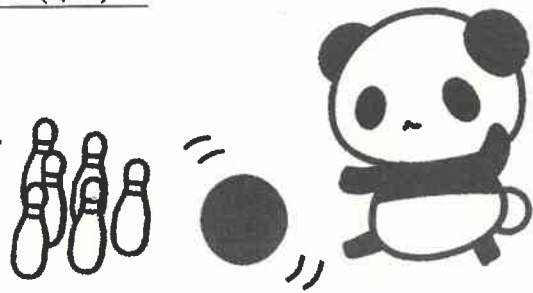
懇親会及び表彰式は、隣にある江戸川総合文化センターにて行いますので、参加希望の方は、分会役員までお願いします。

●日時；2018年1月21日(日)

受付→12:00～

開始→12:30スタート

●場所；江戸川ヤングボウル



江戸川区中央4-22-25

●参加費；組合員 2,000円

家族(中学生以上) 1,000円

小学生以下 無料

2017年 野球サークル『新東京』 【活動報告】

今年、野球サークル『新東京』を結成以来、最高の成績をおさめることが出来ました。

来年も応援をよろしくお願いします！

- ① 3月22日(水) → 練習 10名参加
- ② 4月 5日(水) → 練習 9名参加
- ③ 4月19日(水) → 練習 5名参加
- ◎ 4月30日(日) → 練習試合 10名参加
VSクラッチ (△6-6)
- ▲ 5月10日(水) → 雨天中止
- ☆ 5月17日(水) → 中央連協大会 21名参加
一回戦 VS 日本橋 (○3-2)
決勝 VS 郵便輸送 (○17-1)
- ④ 5月31日(水) → 練習&練習試合 (VS 日本橋)
11名参加
- ⑤ 6月14日(水) → 練習 8名参加
- ⑥ 7月12日(水) → 練習 13名参加
- ☆ 7月19日(水) → 東京大会 19名参加
二回戦 VS 王子 (○8-6)
- ⑦ 8月23日(水) → 練習 12名参加
- ☆ 9月 5日(火) → 東京大会 21名参加
準決勝 VS 新宿 (○3-1)
決勝 VS 八王子 (●1-8)
- 11月25日(土) → 納会 27名参加
「炭良ホルモン はなれ」

【○練習→7回、◎練習試合→2回、▲雨天中止→1回】

日
刊

JP新東京

No. 2215

2017年12月12日(火)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部

03-5606-6784

内線 4353

2018年4月1日更新
新規加入・増額のご案内

大型生命共済「きずな」

年金払特約付こども特約付団体定期保険、年金払特約付こども特約付
新・団体定期保険【生命保険】、普通傷害保険【損害保険】

大型生命共済「きずな」は、
JP労組の大切な仲間を
守るための共済です

大型生命共済「きずな」に関する問い合わせ先

申込書提出締切日

2018年1月9日(火)

申込書は支部または分会にご提出ください

「きずな」の
動画を
ご確認ください。



JP労組 新東京支部 ホームページ <http://jpgu137.cafe.coocan.jp/>

大型生命共済「きずな」

万一死亡の際はご家族の生活を、高度障害の際はご自身の生活を支援します。

「きずな」の特長

仲間の助け合いから生まれた「きずな」はお手頃な掛金で安心保障。また掛金は何歳で加入しても一律となっています。配偶者・子どもの保障もありますのでみんなで加入しましょう。

「きずな」5つの特長

1 本人に万一（死亡・高度障害）のとき一時金または年金で受け取れます

共済金の受取りは

- ①全額一時金
- ②全額年金
- ③一時金と年金の分割

の3方式を選択できますので、当座の資金と家族の生活費が確保でき安心です。



2 1年ごとの剰余金を配当金として還付

1年ごとに収支計算を行い、剰余金が生じた場合は配当金としてお支払いしますので、実質掛金が軽減されます。



3 お手頃な掛金で大きな保障

JP労組独自の共済制度ですからお手頃な掛金で加入できます。また組合員本人は最高4,000万円まで加入できます。



4 毎年保障を見直せます

毎年1回、加入内容の変更ができますから、家族構成の変化に合わせた保障の見直しができます。



5 退職後も満80歳6ヵ月までご継続いただけます

「きずな」加入者は退職後に「退職・非適継続コース」に切り替えをすることにより、組合員・配偶者ともに満80歳6ヵ月まで継続することができます。



制度（配当金）の仕組み



【参考】過去の配当率

2011年度…約19%	2014年度…約29%
2012年度…約26%	2015年度…約26%
2013年度…約29%	2016年度…約26%

※記載の配当率は過去の配当実績です。
 ※大型生命共済「きずな」は2009年4月より団体定期保険と新・団体定期保険を組み合わせた制度となっているため、2009年度以降配当率の計算根拠は一部以前とは異なります。
 ※配当率は、お支払時期の前年度決算により決定しますので、将来お支払いする配当金額は現時点では確定していません。
 ※年度の中で脱退した場合には、還付はありません。
 ※傷害特約制度には配当金はありません。
 ※団体定期保険と新・団体定期保険はそれぞれで収支計算を行います。

支払実績

〔2016年4月～2017年3月〕

●支払件数
434件

●支払共済金額
約26億6,400万円

この制度は1年ごとに収支計算を行い、剰余金が生じた場合は配当金としてお返しする仕組みになっています。

●昨年度の配当実績
約26%

日 刊 新東京	No.2216	2017年12月13(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

大型生命共済「きずな」 加入、継続時の注意点

すでに「きずな」に加入されている方へはピンクの封筒が分会の役員より手渡されていると思いますので、内容をご確認ください。

前回までと同条件で継続の方

前年度と同じ内容で継続の方は、自動更新となりますので、更新申込書の提出の必要はありません。

契約内容に変更がある方

更新申込書を提出いただく必要がありますので、提出締切日（2018年1月9日）までに分会役員にお渡しください。

（注）コース変更やご家族の新規加入は今回の更新のみで可能です。

保障の増額や減額、傷害特約への加入、ご家族の加入等、契約内容に変更がある方は忘れずにお手続きください。

2018年3月末で定年退職となる方

2018年3月末で定年退職となる方については、ピンクの封筒ではなく、それぞれのご自宅に退職後の更新の案内（「きずな」退職・非適継続コースのご案内）が届いていると思います。そのまま放置してしまいますと契約が失効し、退職後は新たに加入出来ませんので、必ず開封し、内容をご確認ください。

2019年3月末に定年を迎える方

2019年3月末に定年を迎える方（今回が定年退職前の最後の更新の方）もご注意ください。「きずな」退職・非適継続コースへの変更の際は、直近の保障額以上の契約はできません。したがって、退職後コースの上限1,000万円（60歳未満は2,000万円）の保障（配偶者は500万円、こどもは300万円）で継続を希望される場合は、今回の更新でそれ以上の保障額に加入しておく必要があります。

新規加入も募集中です！

■大型生命共済「きずな」とは

万一死亡の際は残されたご家族やご遺族の生活を、高度障害の際はご自身の生活を支援します。

組合員の助け合いのために生まれた「きずな」は手頃な掛金で安心保障。掛金は何歳で加入しても一律となっています。配偶者・こどもの保障もありますのでみんなで加入しましょう。

■「きずな」の主な特徴

①手軽な掛金で大きな保障

(例) 300万円の死亡保障が月々わずか735円

②死亡（高度障害）共済金は一時金または年金で受け取れます

全額一時金・全額年金・一時金と年金の分割の3方式を選択できます

③毎年保障を見直せます

家族構成の変化に合わせた保障の見直し等が容易です

④1年ごとの余剰金を配当金として還付

昨年度の配当実績は約26%

⑤傷害特約に加入すれば、様々な事故、ケガにも備えられます

ケガをした際の入院・手術・通院に対して共済金が支払われます

⑥退職後も満80歳6カ月までご継続いただけます

年齢・性別で掛金が変わる「退職・非適継続コース」に切り替えが必要です

※ご加入をご希望の方は、支部執行委員や分会役員にお問い合わせください。

JP共済生協 組合員意識調査へのご協力 ありがとうございました！

先日最終集約を終了し、東京地本へ発送しました。

新東京支部は56名の方にご協力いただきました。

(正社員39名 期間雇用社員17名)

皆さんの意見が共済制度のより良い発展に活かされると思います。

ご協力、まことにありがとうございました！

日 刊	新東京	No.2217	2017年12月14日(木)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
		03-5606-6784	内線 4353

名店の名物料理のコンビにノックアウト!

勤務の帰り、築地魚河岸3階の食堂の夜の部に初訪問してみました。築地魚河岸は、築地場内移転を見越して、その代わりとなるべくできた施設。一階は仲卸さんが集まったような施設。午前9時以降は一般の方も買い物できます。(ただしお店によりピンキリです。某店で天然生の本マグロが安かったのが買ったので買ったら味もしく食感も悪かったので閉口した覚えあり)。

今回伺ったのはその3階、飲食店。現在以下の4店が入居しています。

- ①場内の喫茶店センリ軒。(クリームシチューにパンを浸すと絶品)
- ②場内で八千代と人気を二分する海鮮フライ屋小田保。
- ③場外の老舗鶏肉屋さんの鳥藤が手がける親子丼屋さんの三店舗目。
- ④海鮮。(海鮮系のお店らしいが経営とかは情報収集中)

夜間につき、喫茶店のセンリ軒は営業時間外でした。鳥藤の蒸し鶏ご飯を横目に見つつ、小田保のカウンター前の席に座ります。

まずは生ビールと本マグロ刺身をオーダー。実は小田保も八千代も観光客向けの下等な海鮮丼屋さんより上等なマグロが出てきます。今日の本マグロも赤身だと思いましたが、甘いなの。

メインメニューは八千代さんのと食べ比べしようと思ってチャーシューエッグ定食にしようかと思いましたが、牡蠣ミックス+アジフライにしました。定食にしようかと思いましたが、ある考えが思い浮かび訊いてみました。

「ご飯は鳥藤の蒸し鶏ご飯とか、できますか？」

「はい、できますよ！」 (ただし夜だけみたい)

お、では早速いってみよう！実は鳥藤の鳥藤弁当と親子丼塩、そしてシンガポールチキンライスが好きなのです。

ホントはシンガポールチキンライスが食べたかったのですが、ないようなので、同じく蒸し鶏使った蒸し鶏ご飯。柔らかい。

牡蠣ミックスは大ぶりの牡蠣フライと牡蠣バター。牡蠣バターって昔あるお店で食べた時、「なんてまずいもんだろう！牡蠣は生か鍋か牡蠣フライだろ」と思いましたが、これはいける！フライはサクサク！

2つの名店の豪華コラボをしっかりと堪能しました。 (投稿X)

2017年末年始繁忙期間中の手当等

〈 管理者を除く正社員及び短時間社員・高齢再雇用社員 〉 郵便業務編

		勤務指定	当日の勤務	タブレットの勤務状況	代休・手当など	備考
12月	29日(金)～31日(日)	勤務日	勤務した	—	超過勤務手当	所定外勤務100/100 法定外勤務125/100として超過勤務手当
			勤務しない	年休等		
	非番	勤務した	非番出勤	超過勤務手当	勤務した全時間を超過勤務手当135/100として支給	
		勤務しない	非番			
	週休	勤務した	週休出勤	休日勤務	勤務した全時間を休日勤務135/100として支給	
		勤務しない	週休			

1月	1日(月)祝日	勤務日	勤務した	祝日出勤	祝日給	正規の勤務時間を祝日給135/100として支給 正規の勤務時間を超える時間は超過135/100として支給
			勤務しない	祝日	祝日代休	正規の勤務時間を超える時間は所定外勤務100/100 法定外勤務125/100として超過勤務手当 なお、祝日代休は、2018年6月末までに付与
	非番	勤務した	非番出勤	※祝日給と超過手当	勤務した全時間を超過勤務手当135/100として支給	※土曜日非番を常例としない社員は祝日給の支給の特例
		勤務しない	非番	※祝日給		
	週休	勤務した	週休出勤	代休日と超過手当	勤務した全時間を休日勤務135/100として支給	
		勤務しない	週休	代休日	週休日の前日及び翌日ともに、特休、病休、無給の休暇、介護休業、組休、及び欠勤により勤務しない場合は代休日は付与されない なお、代休日は2018年3月末までに付与	

1月	2日(火)～3日(水)	勤務日	勤務した	—	祝日給・超過勤務手当	正規の勤務時間を超えた分は超過勤務手当135/100として支給 祝日ではないので、祝日代休は選択できない
			勤務しない	特休		年末年始特別休暇(勤務を命じられていた場合は、年休等)
	非番	勤務した	非番出勤	超過勤務手当	勤務した全時間を超過勤務手当135/100として支給	
		勤務しない	非番			
	週休	勤務した	週休出勤	休日勤務	勤務した全時間を休日勤務135/100として支給	
		勤務しない	週休			

※年末年始勤務手当

○12月23日、1月1日の祝日代休の付与期限は2018年6月末まで
○短時間社員は祝日代休、代休及び代休日は付与されません

◎12月29、30、31日・・・4,000円/日(2,000円/日)

○高齢再雇用短時間勤務社員の正規の勤務時間を超える時間は、1日8時間、週40時間に達するまでは所定外勤務(100/100)、1日8時間又は週40時間を超える時間は法定外勤務(125/100)として超過手当を支給する

◎1月1、2、3日・・・5,000円/日(2,500円/日)

※高齢再雇用短時間勤務Ⅱ型社員、短時間社員及び実際に勤務した時間が4時間以下のときはカッコ内を適用

日 刊	JP新東京	No.2218	2017年12月15日(金)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784	内線 4353

日本郵便輸送(株) 2018年度車両代替について

日本郵便輸送(株)業務部より、2018年度の車両代替について提示がありました。

本部は、各地方・支社の要請に基づき車両代替準備を進めており、代替にあたっては担務する社員の安全・安心を担保することを基本とし、運行実態に即した車両仕様、また、明年から実施されるトレーラー輸送の自社執行に係わる車両導入等について会社の考え方の詳細を明らかにするよう求め、下記のとおり考え方を引出したことから了とし、周知することとします。

記

1. 車両代替の基本的考え方

- (1) 2017年度に引き続き、架装メーカーの受注状況を勘案し、2018年度の受注時期を12月とする。
- (2) 代替車両数の平準化についても、各支社の実働車両数等を反映し、若干の変更を加えた計画とする。

2. 2018年度車両代替の概要

(1) 車両代替基準

- ① 1t以上の車両については、9年経過した平成21年式以前の実働車両を代替対象とする。
- ② 9年経過車両以外であっても、累計走行距離100万キロ以上の過走行車両については、車両状態を勘案して代替対象とする。
- ③ 6t車については、8t車による代替を基本とする。
- ④ 一般貨物用車両については、各車両の売上見込み額が車両コストを

賄えることを前提とする。

- ⑤ 軽四車両については、6年経過した平成24年式以前の実働車および、予備車を代替対象とする。
- ⑥ 乗用・乗貨車は支社要望を勘案し、古年式車両を代替する。
- ⑦ 納車時期は、夏期繁忙期および年末繁忙期の2期に分けて納車する。
- ⑧ 2018年度2月よりセミトレーラーの自社執行を実施することで準備を進めているが、JP本社は更なるトレーラー運行を計画しているため、2018年度はセミトレーラー3両およびフルトレーラー4両の予算建てを行うこととする。

3. 車両製作台数

合計193台(別紙1-1)

4. 納車時期

(1) 夏期増前：2018年6月下旬

(全体の30%程度を計画・別紙1-2)

(2) 年末繁忙前：2018年9月から10月末日

(全体の70%程度を計画・資料1-3)

(3) 1t車は別途調整する。

(4) 乗用・乗貨車については、可能な限り早期の納車とする。

※夏期および年末繁忙期前の納車数については、今後架装メーカーと協議し、変更する場合がある。

5. 車種別購入車両数および購入見積り額

(両) (単位：千円)

車種	10t 増	8t	6t	4t	2t	小計	1t	軽四	乗用	乗貨	合計	見積り額
計画数	11	18	7	122	18	176	3	0	1	6	186	1,314,400
セミレ	3										3	60,000
フルレ	4										4	120,000
合計	18	18	7	122	18	176	3	0	1	6	193	1,494,400

※セミトレーラ・フルトレーラー7両については、具体的な計画が未確定のため、本年12月の発注対象外とする。

日 刊 新東京	No.2219	2017年12月18日(月)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

ゆうパック増加に伴う 業務運行確保等に関する対応について

東京地本は、ゆうパック増加に伴う業務運行確保について、中央本部と連携を図っています。特に新東京等の地域区分局については、ゆうパック運送便が定刻どおりに出発するよう中央本部に強く申し入れているところです。

しかし、郵便輸送支部の懸命な努力にも関わらず、依然として西日本を中心に定時出発が出来ていない状況であり、引き続き正常な業務運行確保に向けた中央本部としての対応強化を東京地本は求めているところです。

東京における正常な業務運行対策については、12月から地本書記長をトップとした支社対応に臨んでいるところであり、具体的対応をはかっています。

地域区分局の業務支援については、コンチプランに基づき支社社員を中心に業務応援に入っていますが、12月10日以降については、OB社員（支社・郵便局幹部）への協力要請も行いつつ、他の郵便局から地域区分局への作業応援を実施していくとしています。

現時点においても、ゆうパック取扱量が増加していることや、ドライバー不足の影響もあって、臨時運送便の確保が非常に困難となっています。したがって配達局での業務運行に大きな影響を及ぼしていることから、2トン車配備局においては、直接、地域区分局へゆうパックを取りに行くなどの対応策も実施しています。

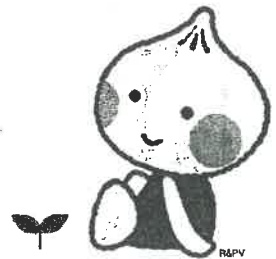
配達局への対策については、大口業者への配達猶予承諾への対応を強化しています。これまでの交渉結果として、支社承認ではあるものの、受託者等による朝のゆうパック区分作業（契約変更で対応可）、2日間連続配達の休止（局長判断）、再配達締め切り時刻の前倒しについても実施することが可能としていることから、未実施局については、再度業務運行を確保するための対応策の1つとして、職場での労使対応を要請しています。

東京地本としては、引き続き、各局の状況を踏まえたくえで、できうる対策をこうじさせていくこととしますので、各分会においても、社員の健康管理（休憩・休息の取得）を前提とした労使対応を図りつつ、課題解決が出来ない場合には速やかに支部・地本への連絡をお願いします。

なお、12月24日・25日の特需対策についても、改めて注視をするよう支社に求めたところです。

私たちの職場から 痛ましい過労死等を出さないために

長時間労働などの過重労働から、脳・心臓疾患による過労死に至る場合がありますが、さまざまなストレスからメンタル不調になり、過労自殺に至る場合もあります。無理や我慢を重ね、心身に不調をきたす前に、身体や脳を休ませましょう。メンタル不調の兆しが見えたら、早期に対応（休息を取る、チームで仕事を分担する、お医者さんに行くなど…）することが大切です。11月は過労死等防止啓発月間です。この機会にあなた自身や職場の仲間、ご家族のことを見つめ直してみませんか？



ストレスの原因となる事例



おではまることはありませんか？

Check

- 長時間労働が続いている
- 仕事の内容や役割が大きく変わった
- 仕事で大きな失敗をしまい責任を問われた
- 休日も仕事に出かけることが多い
- 周囲に相談相手がいない
- 家族のことや金銭問題などの悩みを抱えている
- セクハラ・パワハラを受けている

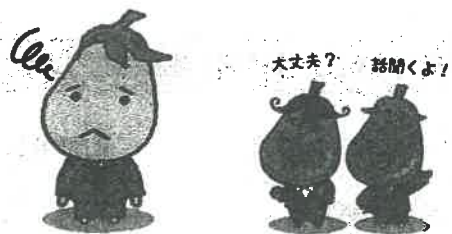
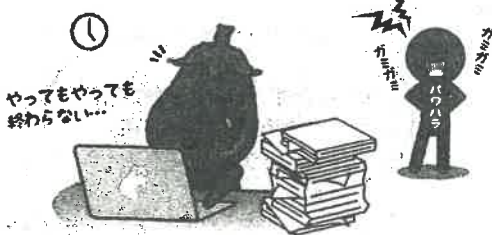
メンタル不調時に現れやすい様子の例



心当たりはありませんか？

Check

- 遅刻や早退が増えた
- 月曜日(休日明け)に休むことがある
- 最近、仕事の締切に遅れることが多い
- 朝からお酒臭いことがある
- 顔色や表情がさえない
- 食べる量が減った、食欲がなさそう
- 居眠りが多い、眠れない・夜中に目が覚める
- 急におしゃべりになった
- ふさぎ込んでいることが多い



これらのチェックリストで、心当たりがある、同僚や家族が心配だ…そんな時は、労働組合や職場の仲間に相談したり、精神科・心療内科などのお医者さんに行ってみませんか？

厚生労働省「働く人のこころの耳」<https://kokoro.mhlw.go.jp>などのサイトもあります。

ひとりぼっちで抱え込まないでSOSを発信してください！



日
刊

JP新東京

No.2220

2017年12月19日(火)

日本郵政グループ労働組合新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

リチウムイオン電池の発火について

今年もあと10日ほどで終わりですが、特に最近、ノートパソコンやスマートフォンに使われるリチウムイオン電池や充電器が発火する事故が相次いでいます。

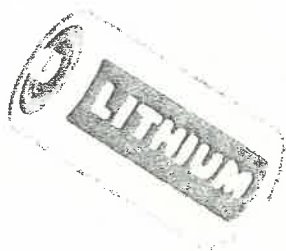
記憶にある限りでも、9月にJR山手線の電車内で、乗客が背負っていたリュックから突然出火(原因はスマートフォンに接続されていた充電器の異常発熱)、つい最近では12月13日に地下鉄の改札で20代男性のバッグに入っていた器が破裂音と共に発火する事態がありました。



付近
充電
あり

2012年と比べて、リチウムイオン電池を搭載した充電器などの発火事故は5倍近くに増えているそうです。それだけスマートフォンが普及し、それに伴いモバイル充電器の携帯率が高まっているのが原因だそうですが、

リチウムイオン電池が発火する、なんてめったにないことだと思いきや、我々の身近で頻繁に起こっていることだとわかります。



郵便、ゆうパックにおいて航空搭載することのできないリチウムイオン電池、街中や地下鉄など発火事故が起こってももちろん危険ですが、これが空中密室状態の飛行機だととんでもない大事故につながります。

もはや1人1台所有するのが当たりまえになりつつあるスマートフォン、気楽に郵便やゆうパックで送るお客様は多いでしょうし、これから先、増えていくことは確実ですが、我々は大惨事につながる可能性があることを充分意識して引受・輸送していかなければなりません。

大型生命共済「きずな」

万一死亡の際はご家族の生活を、高度障害の際はご自身の生活を支援します。

「きずな」の特長

仲間の助け合いから生まれた「きずな」はお手頃な掛金で安心保障。また掛金は何歳で加入しても一律となっています。配偶者・子どもの保障もありますのでみんなで加入しましょう。

「きずな」5つの特長

1 本人に万一(死亡・高度障害)のとき
一時金または年金で受け取れます

共済金の受取りは
①全額一時金
②全額年金
③一時金と年金の分割
の3方式を選択できますので、当座の資金と
家族の生活費が確保でき安心です。



2 1年ごとの剰余金を
配当金として選付

1年ごとに収支計算を行い、剰余金が生じた
場合は配当金としてお支払いしますので、実
質掛金が軽減されます。



3 お手頃な掛金で
大きな保障

JP労組独自の共済制度
ですからお手頃な掛金で
加入できます。
また組合員本人は最高
4,000万円まで加入でき
ます。



4 毎年保障を見直せます

毎年1回、加入内容
の変更ができますから、家族構成の変
化に合わせた保障
の見直しができます。



5 退職後も
満80歳6ヵ月まで
ご継続いただけます

「きずな」加入者は退
職後に「退職・非適
継続コース」に切り替
えをすることにより、組
合員・配偶者ともに満
80歳6ヵ月まで継続
することができます。



制度(配当金)の仕組み



【参考】過去の配当率

2011年度…約19%	2014年度…約29%
2012年度…約26%	2015年度…約26%
2013年度…約29%	2016年度…約26%

※記載の配当率は過去の配当実績です。
※大型生命共済「きずな」は2009年4月より団体定期保険と新・団体定期保険を
組み合わせた制度となっているため、2009年度以降配当率の計算根拠は一部
以前とは異なります。
※配当率は、お支払時期の前年度決算により決定しますので、将来お支払いする
配当金額は現時点では確定していません。
※年度の中途で退社した場合には、選付はありません。
※傷害特約制度には配当金はありません。
※団体定期保険と新・団体定期保険はそれぞれ収支計算を行います。

●昨年度の配当実績
約26%

●支払件数
434件

●支払共済金額
約26億6,400万円

※本人(受領)・遺族(配偶者)二者

日 刊 ア新東京	No.2221	2017年12月20日(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

X氏、もんじゃ焼き初体験 ～寒い中更に寒くなるオヤジギャグ添え～

先日は廃休で現場応援でした。

普段事務方のおいらでも最近では1日1時間半くらいの現場応援はあるのだけれど、廃休で1日となると、数年間机に座りっぱなしに慣れすぎたおいらにはキツイです（デスクワークに慣れてる訳ではないので念のため）。寄る年波には勝てません・
・・・。

いつもは「マイケル応援（オーウェン）行ってきまあす！」などと熱い意気込みを込めた寒い親父ギャグを言ってるのですが、先日の勤務が終わった時には、そんなマイケル冗談（ジョーダン）を言う元気もなく。

疲れたなあ、棒茄子を収穫したところで築地に行って美味しいもんでも食うかなと有楽町線で大江戸線乗り換えの月島まで来たが、ふともんじゃ焼き食ってみたいと思いました。

実は田舎者なので、食ったことないのです。

不器用だからお好み焼きももんじゃ焼きもたこ焼きも焼けず。

近所にあった女将さんがやってたお好み焼き屋さんも、お好み焼きは焼いてくれるけどもんじゃ焼きは自分で焼かないとダメでしたので、もんじゃ焼きは注文したことがありません（その店もいつの間に閉店してた）。

Googleで月島でもんじゃ焼き焼いてくれる店で検索したらあると言う…。では、未知の世界にシュッパーツ！で、その焼いてくれるという店目指して歩いて行ったら見つけたのがまぐろやさん。

先日某SNSでお友達の方が投稿しておられて気になったのですが、ネットで調べた限りだと、焼いてくれるという情報はありません。扉を開けてお店の方に聞いてみたら、頼めば焼いてくれるとのこと。

店頭にはたくさんのサインが並びます。実は結構な有名人御用達のお店ようです。

まずは生ビールと知人がアップしていた、まぐろカマトロの刺身。

しばらくして、肌色に輝くカマトロが出てきました。おー、美味しいなあ、いい脂だなあと思ってたら、後でメニュー表を見たらギョッ！

持ち合わせあったかしらん・・・？

もんじゃ焼きは

- ①マグロ
- ②店長スペシャル？
- ③スタミナ（ニンニク、キムチ、豚肉）。

周りの方は自分たちで器用に土手を作り焼いていきますが、おいらは三枚とも焼いてもらったのでした。

器用に焼き上げられたもんじゃはふわふわとろとろ。うまいもんだなっす！と思わず出たおしん（幼少時代の・・・）のような感想は焼いてくれる人のヘラのテクが上手いのか、味が美味しいのか。

いや、両方かな？

庶民の味とはいうものの、支払いはかなり高かったです。

（投稿X）

日 刊
JP新東京

No. 2 2 2 2

2017年
12月21日(木)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

一特分会 忘年会開催!

今年も残すところ、あとわずか。一年を締めくくる、一特分会恒例の忘年会が、十二月十七日(日)、冷たい風が吹くなか、東陽町の「牛タン 木村」にて開催され、総勢三十二名の方が参加してく

れました。また、色々な方から、たくさんのカンパもいただきました。皆さん、ありがとうございます。まずはじめに、分会長の高橋さんからのあいさつで忘年会はスタートです。さてさて、

お楽しみみの料理ですが、刻みきゅうりがのった優しい味の冷奴、サラダに刺し身の船盛と、寒い日にはたまらない温かいもつ鍋。店名にもある牛タンなどに舌鼓。デザートには、焼き目のついたカステラが登場!途中、東京地本小林書記長からのあいさつを交えて料理を食べ、お酒を飲みながら、楽しい雰囲気では進んでいきました。そして、皆さんち

ようどよくほろ酔いになつたころには、宴もたけなわ。最後は、藤岡さんの締めという言葉と、一本締めにて、一次会は無事に終わり、その後は、希望者を募つて別の居酒屋での二次会となりました。

まもなく今年も終わり、新年を迎えます。寒さと物の多さに負けず、来年もまた一特分会メンバーで力を合わせていきましょう！それでは、参加

された皆さん。本当にお疲れさまでした。また、カンパをしていただいた五名の方々も、重ねてありがとうございます。



医療共済 マイガードに入ろう 加入随時募集中

割安な掛金の医療共済です。補償額が入院1日、3千円、5千円、1万円から選べます。医療に関する保険に加入していない人はまず入っていた方がよい共済です。入院、手術や骨折、1日入院なども対象となります。病気が発見されてからでは加入できませんので、検査を受ける前に加入しておきましょう。深夜勤での疲労の蓄積は思わぬ病気を引き起こします。ぜひとも検討を…。詳しくは組合役員まで…

日
刊

JP 新東京

No. 2224

2017年12月25日(月)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

一普分会 忘年会 開催!

12月1日(金)、世間一般では、かなり早い感覚ですが、年賀繁忙を控えているため、早めの一普分会の忘年会を、小平副分会長肝いりの「千年の宴」東陽町店で開催しました。月初めの忙しい時期で、急な声かけにも関わらず、16名の組合員が参加しました。ありがとうございます。



まず、芳賀統括課長の乾杯で始まった宴は、サラダや刺身などの前菜、しゃぶしゃぶ鍋や唐揚げなどのメインディッシュ、閉めのチャーハンにデザートのアイスに…と、出てきたおいしい料理に舌鼓を打ちながら、酒を飲み飲み、話は弾みました。高井執行委員の働きかけで、今年、組合に新規加入してくれた方も参加し、皆と打ち解けて、楽しいひとときを過ごしました。

最後に、その組拵の第一人者、高井執行委員より、年末繁忙を乗り切ろう、との挨拶があり、ひとまず閉会しました。その後、超勤が終わって合流した方々と、2次会になだれこんだのでした。

年末繁忙が終了した後の1月21日(日)に、支部のボーリング大会が予定されています。勤務の都合などあると思いますが、ふるっての参加、お待ちしております。

(投稿)

やっぱり…、なトラブル発生

62円と52円

いよいよ年の瀬も押し迫ってまいりました。皆さん(喪中の方を除いて)年賀状は書き終えましたか? 年賀班の負担軽減のためにも、年賀状の差し出しは、お早めに(できれば28日までに)お願いします。

さて、1普では、江東区(〒135、136)管内の収集便を消印処理しています。処理中に出てきた料金未納の郵便物は、事故係が取扱マニュアルに沿って処理しています。

今年の6月に普通ハガキが62円に値上げされました。ですが、12月15日~1月7日の間に差し出される**年賀状**に関しては、52円のまま据え置かれました。その62円と52円の違いのお知らせで、郵便ポストや局の掲示板に貼られているポスターなどに「**年賀はがきは52円…**」と書かれているため、お客様にちょっとした誤解を招いているようです。

料金改定して半年たちますが、一年中いつでも、年賀ハガキなら何でも52円でOKだと思っているお客様は多いです。先日は、昨年の年賀はがきを使用して差し出した郵便物を、一度料金不足で返送したところ、「12月15日から1月7日の間の年賀はがきなら(何でも)52円で送達できると言っていたではないか」との、やや逆ギレっぽい苦情を受けました。また、先日は、どうしても10円安く送達したいがために、懸賞ハガキに「年賀」の朱書きを記入したお客様も現れました。料金改定時に現場で噂したトラブルが現実になるとは、笑うに笑えません。

来年も年賀状を52円で送達する計画なら、お客様に誤解の少ない日本語での、丁寧な周知をお願いします。

【猫舌】

日 刊 A 新東京	No.2225	2017年12月26日(火)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

「書損はがき集約活動」の取組について

東京地方ユースネットワークは、国内社会貢献活動として「書損葉書集約活動(※)」に取り組んでいます。今年度も「中央ユースネットワーク第10回定期総会」で確認した2017年度活動計画にもとづき、強化期間を設定し、以下のとおり取り組みを展開します。

つきましては、各機関のユースネットワークの積極的な行動展開をはじめ、全組合員のご協力をお願いします。

※「書損はがき集約活動」とは？

ユースネットワークが中心となり、書き損じた葉書(書損葉書)などを集約・換金し、定期全国大会開催地の社会福祉協議会が要望する福祉機材などを寄贈する活動です。

1 集約対象

葉書を基本としますが、郵便局窓口で書損交換できるものをすべて対象とします。

2 期間

2018年1月1日から同年3月31日までお願い致します。

3 方法

各分会の役員及び支部役員にお尋ねください。東京地本発行機関誌「Jump up Tokyo」にも、取り組みへの協力について掲載しています。

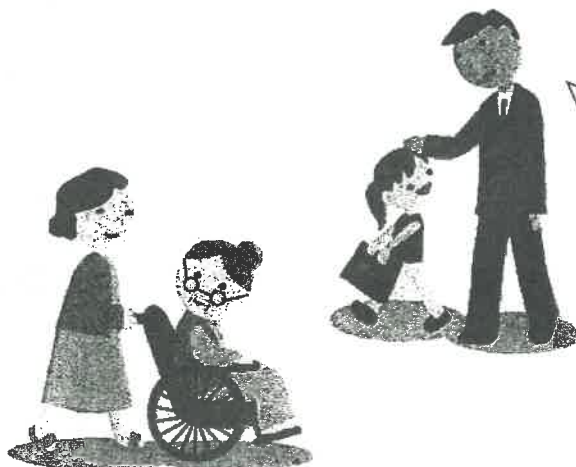
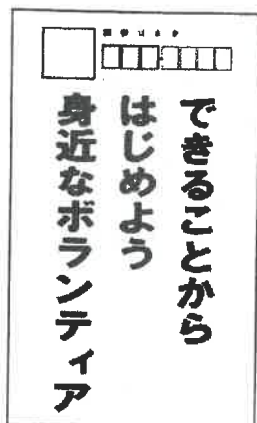
【参考：既報】

組合員のみなさんのご協力により、昨年度の全国集約金は5,465,989円(内東京:7,074枚・309,906円)でした。集約金については、第10回定期全国大会の開催地である「広島市社会福祉協議会」に対し全額、贈呈を行い、点字用翻訳パソコンとプリンター、災害者支援や福祉救援等に使用する車両等の購入に活用されています。

今年も

ユースネットワーク社会貢献活動

書損ハガキを集めています



1月から
取り組みスタート!

ユースネットワークは社会貢献活動の一環として、書損ハガキを集約し、全国大会会場所在地の社会福祉協議会が希望する福祉機材（ex. 車椅子）などを寄贈する取り組みを行っています。

ユースネットワーク組合員が中心となって取り組みますが、全組合員のご協力をよろしくお願いします。

〈 2016年度集約結果 〉

集約枚数 118,448枚 (5,465,989円)

強化月間

1月1日から3月31日まで

集約種別

葉書を基本に、書損交換できるものすべてを
対象とします!

日 刊

新東京

No.2226

2017年
12月27日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

来年も充実した一年に 新東京支部 退職者の会 第三回総会報告

発足3年目を迎え、今年もいろいろなことがありました。

第三回総会は、あいにくの小雨の中でしたが、64名の参加で開催しました。

議長には、今年3月に定年退職し、協力会員になったばかりの二特分会の稲葉正樹さんによってもらい、段取りのいい進行をすすめ

てもらいました。

新東京支部執行委員、分会役員との協力によって、協力会員17名の加入、新会員13名の拡大してきたことを確認しました。

また総会として、政治・平和の問題、共済、レク、総会・懇親会の充実、現場の労働条件改善の応援をおこなっていくことを確認し

あいました。

水上バス・レクの開催

十一月十日に35名の参加でおいなりました。

吾妻橋・駒形橋・蔵前橋・新大橋など一〇余りある橋を水面から眺めるといふ迫力、ふだん見られない大東京の一面を堪能しました。

そのあと大庭園の浜離宮を一時間あまり見学し、すぐ近くにある電通ビル四六階での懇親会を楽しみました。

水面からと上空からの大東京を味わうという大変充実したレクをおこなえたと思います。

今年も、いろいろな取り組みをおこなっていききたいと思っています。よろしくおねがいします。



「郵政未来研究会（みらい研）」 会員募集中

働くものの公正・公平そして安心・安全に働き暮らしていくことのできる社会と郵政事業を守り発展していく政策の実現を目指しJP労組の政治活動を推進していくことを目的に郵政未来研究会を設立しました。

郵政事業・税制・環境・教育・社会保障・平和…私達の暮らしと未来は政治と密接に関係しています。

私達の強い意志が公正な社会を創ります。詳しくは組合役員まで…

12月28(木)～1月8日(月)まで「日刊JP新東京」はお休みします。